

波をつかんで風の先へ



8月18日、第2回獅子島カヌー大会と、小中学生を対象にした第28回カヌー長島海峡横断大会が開催されました。

大会は、獅子島幣串漁港をスタート・ゴールとする20キロコース（一般）と、同港をスタートし、薄井竹島港をゴールする7キロコース（小中学生）で実施。一般の部に28人、町内の小中学生など59人が参加しました。

開会式では川添健町長が「獅子島の海と山を堪能し、良い思い出を作ってください」と激励の言葉を述べ、選手を代表して小山只勝さんが「最後の一漕ぎまで全力を出して、ゴールを目指します」と宣誓しました。

午前10時30分、合図とともに一般参加者が一齐にスタートしました。一般参加者は、一人乗りや二人乗りシーカヤックのほ

か、一人乗りファルトボート、サーフスキー、アウトリガーなどさまざまな種類のカヌーでタイムレースに挑みました。コースは伊唐大橋の下をくぐり、伊唐島を一周する長丁場。タイムを競う選手や、のんびりとゴールを目指す選手など思い思いに楽しんでいました。

一般の部がスタートした後、小中学生らも一齐にスタート。全員で横断成功することを目的に、竹島のゴールを目指しました。縦に長い列を組み、普段見慣れない海から眺める長島の景色を見ながら、無事、保護者らが待つ竹島港に着きました。

横断の途中、平尾小6年の江口美紀さんは「風が吹いて少し波があるけど、それほどきつくない」と、炎天下の中でも笑顔を見せてくれました。



↑ゴール目前、最後の一漕ぎまで全力で



↑波しぶきをあげ、一齐にスタートする一般参加者



↑獅子島沖、子どもらが長い列を組みゴールを目指す

獅子島カヌー横断大会

獅子島流のおもてなし

カヌー大会前日の17日には、獅子島カヌー横断大会前夜祭が、獅子島アイランドセンターで行われ、島民と一般参加者らが親睦を深めました。

前夜祭は、島内の民宿などで調理された海の幸と焼酎で、参加者をもてなしました。ステージでは獅子島小中学校の教員らによる即席バンドや片側婦人会のフラダンスなどの余興を披露しました。

また2日間に渡り、片側出身の岩下志緒里さん（出水中央高校2年）はボランティアとしてイベントに参加し、準備など運営を手伝いました。岩下さんは「暑かったけど、地元のイベントにボランティアで参加できてうれしい」と話しました。



↑ボランティアの岩下さん